

肺炎球菌予防接種を受ける前に(説明書)

- ★肺炎球菌感染症とは、肺炎球菌という細菌によって引き起こされる病気です。この予防接種に用いられる20価肺炎球菌ワクチンは、成人侵襲性肺炎球菌感染症の原因の約5～6割を占める20種類の肺炎球菌の型に効果があります。
- ★接種を受ける法律上の義務はありませんが、接種を希望される場合は、下記の注意事項をよく読み、十分に理解された上で接種してください。接種にあたってはご本人の意思確認と署名が必要となります。

1 一般的注意事項

- ・必要性や副反応について十分に理解いただき、気になる点や不明な点があれば、医師や看護師におたずねください。
- ・説明を受けても十分に理解できない場合は、接種を受けないでください。

2 予防接種を受けることができない方、接種に注意が必要な方

接種できない方	接種に注意が必要な方
<ul style="list-style-type: none">●ジフテリアトキソイドによってアナフィラキシーを起こしたことがある方●明らかに発熱している方●重篤な急性疾患にかかっていることが明らかな方●その他、予防接種をすることが不適切な状態と医師が判断した方	<ul style="list-style-type: none">●免疫不全と診断されている方●近親者に先天性免疫不全症の方がいる方●心臓血管系疾患、腎臓疾患、肝臓疾患、血液疾患等の基礎疾患がある方●予防接種を受けて2日以内に発熱や全身性発疹などのアレルギー症状を起こしたことがある方●過去にけいれんを起こしたことがある方●20価肺炎球菌ワクチンの成分やジフテリアトキソイドに対してアレルギーを起こすおそれのある方●血小板減少症、凝固障害がある方、抗凝固療法を受けている方

3 肺炎球菌ワクチンの副反応、予防接種を受けた後の注意事項

主な副反応 ※報告頻度1%以上のもの (厚生労働省ホームページより)	疼痛・圧痛、筋肉痛、疲労、頭痛、関節痛、 紅斑、腫脹
---------------------------------------	-------------------------------

- ・接種後30分程度は安静にしてください。また、体調に異常を感じた場合には、速やかに医師へ連絡してください。
- ・接種当日は、激しい運動は控え、接種部位を清潔に保つようにしてください。接種当日の入浴は問題ありません。

4 健康被害救済制度について

- ・予防接種の副反応による健康被害は、極めて稀ですが、不可避免的に生ずるものです。定期接種により、健康被害が生じたものと厚生労働大臣が認定したときは、予防接種法に基づく健康被害救済制度の給付の対象となります。

5 他のワクチンとの接種間隔

- ・医師が特に必要と認めた場合には、他のワクチンと同時接種することができます。

〈お問い合わせ先〉

仙台市総合コールセンター
都の都おしえてコール

☎ 022-398-4894



[受付時間] 8:00～20:00(年中無休)

(土曜・日曜・祝休日・年末年始(12月29日～1月3日)は17:00まで)

※個人情報に関わるお問い合わせや専門的な内容は担当部署にお取り次ぎいたします
英語、中国語、韓国語、ベトナム語、ネパール語にも対応

●よくある質問と回答(FAQ)は
こちらの二次元コードをご覧ください